

公 益 社 団 法 人

福岡県作業療法協会会報

第127号 平成29年4月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

T E L 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集：注意障害と半側空間無視の理解とその介入

目次

巻頭言：「自立」に向けた新しいステージへ 公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一	・・・1
会長行動	・・・2
特集：注意障害と半側空間無視の理解とその介入 九州栄養福祉大学 作業療法学科 湊 雅子	・・・3
理事会議事録	・・・7
定期社員総会議事録	・・・13
各部・委員会からのお知らせ	・・・14
平成28年度九州作業療法士会長会主催合同研修会出張報告書： 高木病院 リハビリテーション室 作業療法士 田代 大祐	・・・18
Occupation： 倉光病院 平川 雅子	・・・19
リレーエッセイ： 製鉄記念八幡病院 中野 裕也	・・・20
会員動向調査	・・・23

巻頭言：「自立」に向けた新しいステージへ

公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田 太一

「一般的に「自立」の反対語は「依存」だと勘違いされていますが、人間は物であったり人であったり、様々なものに依存しないと生きていけないんですよ。（中略）依存先を増やして、一つひとつへの依存度を浅くすると、何にも依存していないかのように錯覚できます。（後略）（TOKYO人権 第56号：平成24年11月27日発行；熊谷晋一郎氏 小児科医／東京大学先端科学技術研究センター 特任教授）

一人ひとりのADL・IADLを保障し、活動・参加へつなげることから、さらに生活基盤である地域での生活を保障し合うための住民の意識付けと行動へと広がり、その結果が新しい“街づくり”へとつなげるために、関係する専門職の参画が期待されています。

疾病の治癒、障害の軽減、そして地域リハビリテーション理念の実現を目指し、地域生活の支援を深く意識した「地域包括ケアシステムの推進・充実」が新しい目標となった今、リハビリテーションの目標や目的が、活動や参加のレベルでの自立を目指す新しいステージへとシフトしていくことが求められています。

私たち作業療法士は、「医療情報」、「身体能力」、「認知能力」、「栄養状態」や、生活状況を含めた予後予測と、集団活動の活性化に向けた知識や技術を総動員してこれからのことにあたる必要があります。その進め方の指針として、「生活行為向上マネジメント（MTDLP: Management tool of Daily Life Performance）」があります。この中にある「興味・関心チェックリスト」は、自らの「生きがい」や「楽しみ」を改めて確認する機会を提供し、ご本人の行動を起こすスイッチを押すことを提供します。

具体的には、「生きがい」や「楽しみ」の実現を目指し、「強み」を見つけ、課題の解決へ向けてやるべきことを確認し、ご本人との合意形成の下に実行するという流れと、その進捗状況をチェックし、新たなプランを遂行するというサイクルの構築へと進めることになります。

言い換えれば、課題解決には、必要となる「能力を探り」、「依存先（支援）を見つけ」、「依存先につなぎ」、「依存先を増やす」こととなるのでしょうか。

福岡県作業療法協会は、今年もこのようなリハビリテーションの新しいステージに向かって、考え進む職能団体を目指します。

会員の皆さんと共に、志も高く。



会長行動 （平成29年1月～3月）

1. 14 一般社団法人日本作業療法士協会「福祉用具対策委員会」協力事業「（仮称）生活行為の不便さを助ける道具等の提供事業」福岡県・神奈川県合同運営会議 出席
場所：JR博多シティ

1. 15 福岡県作業療法協会「福岡県地域ケア会議に資する人材育成研修会」 出席
場所：JR博多シティ

- 21 平成28年度第3回九州作業療法士会長会議 出席

- 22 九州作業療法士会長会主催 合同研修会 出席
場所：九州保健福祉大学（延岡市）

1. 28 平成28年度第3回47委員会 出席
29 場所：TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

2. 4 福岡県三士会合同「訪問リハビリテーション研修会」 参加
5 場所：福岡国際医療福祉学院

2. 6 公益社団法人 福岡県作業療法協会 平成28年度第6回理事会 出席
場所：良想夢リハビリスポーツガーデン

2. 10 福岡県高次脳機能障害相談支援体制連携調整委員会 出席
場所：吉塚合同庁舎

2. 18 平成28年度 現職者共通研修「作業療法の可能性」 講師
19 平成28年度第2回公益社団法人福岡県作業療法協会 社員総会 出席
第21回福岡県作業療法協会 参加
場所：そびあしんぐう

2. 26 一般社団法人 日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会主催
「介護予防・日常生活支援総合事業に関する人材育成研修会」 運営出席
場所：TKP神田ビジネスセンター

3. 5 福岡県保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課 主催
「平成28年度専門職向け地域ケア会議研修」 出席
場所：福岡県中小企業振興センター

3. 9 福岡県作業療法協会 地域包括ケアシステム推進会議 出席
場所：宗像水光会病院

注意障害と半側空間無視の理解とその介入

九州栄養福祉大学 作業療法学科 瀧 雅子

1. はじめに

この内容は、平成28年12月福岡県作業療法協会北九州ブロックの勉強会にて話した内容を基本にしたものである。そのため学術的な文章としては、様々な点でルールを無視している点が多々あることをご容赦願いたい。

勉強会でいただいたテーマが、注意障害と半側空間無視の違いをどう理解するかであった。基本的でありながら、難しい内容なので、参加メンバーと共通認識を持つことを目的に話した。また、映像を含め話した内容なので、文字のみでは伝わりにくい点も多々あることもご理解いただきたい。

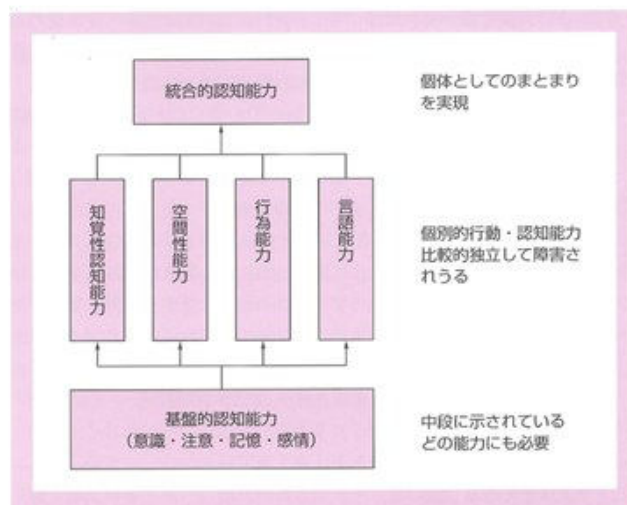
2. 高次脳機能障害をどう理解するか

高次脳機能障害とは何か？このような地球規模の命題に挑むつもりはない。しかし全く同一概念でもないこの内容に対し前置きが必要である。

高次脳機能障害は古くて新しい言葉である。また、国際的に高次脳機能障害を置き換えられる英語訳もない。そのため様々な言葉が利用されてきた。失行・失認・失語、高次神経障害、神経心理学的問題、認知障害等々である。この言葉が日本において統一概念となったのは、高次脳機能障害支援モデル事業によるところが大きい。この事業の中で、以下の診断基準をつくり、国を挙げて高次脳機能障害に取り組んだ。

- 1) 脳の器質的病変の原因となる事故による受傷や疾病発症の事実が確認されている。
- 2) 日常生活または社会生活に制約があり、その主たる原因が記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害などの認知障害である。

この概念には当初、失行、失認、失語などは含まれなかった。このことにより臨床現場は大混乱したのを憶えている。それらいきさつについてはここでは割愛する。しかしこのことにより、高次脳機能を幅広く捉え、また整理されていった。その当時山鳥¹⁾は以下のように整理した。高次脳機能障害を、広い概念として、脳の比較的高位に位置する領域の損傷によって生じる行動および認知機能の障害であり、狭い概念として、最近わが国は特定の疾患、特定の症候群を示す概念とし、定められた診断基準を満たす患者群に使用される診断名と説明した。この狭い概念こそ上述の高次脳機能障害支援モデル事業で取り組まれたことを指している。これまで高次脳機能障害のそれぞれの障害を個々に診断し並列的に示されていたのが、広範かつ階層的に示された(図1)。ここに示さ



れた各能力については原著を精読してほしい。しかし、簡単に解説を加えると、中段に示されている個別的行動・認知能力は、比較的独立して障害されうるとし、これまでの失行、失認、失語と対応させている。しかしその各々の範囲は広がり、行為能力は、いわゆる失行に加え、前頭葉性行為障害を含めた行為能力全般の障害としている。また知覚性認知能力は、求心性神経により脳へ伝えられる各種感覚情報の処理能力であり、その能力の障害に視覚失認、聴覚失認、触覚失認などを位置づけている。これに対し空間性能力とは、空間認知能力や空間内での行動能力をさし、その障害により空間に注意を向ける、定位した対象に手を伸ばす、視覚性注意を空間内で変えていくことが障害される半側空間無視やバリント症候群や、空間的な位置関係や方向性の障害により空間内を移動することができない道順障害を位置づけている。

これに対し、この様々な個別的認知能力のどの能力にも必要とされずとして、基盤となる認知能力が位置付けられ、その一つとして注意機能が示されている。ここまできると、注意障害と半側空間無視はクリアになって見える？ような気がする。様々な能力の基礎となる全般的注意としての注意障害と、それに支えられた個別的認知能力のひとつである空間性能力の中で、ある方向に注意を向けることができない半側空間無視という構図である。

しかし、注意機能の広がり大きく、発展的である。また、半側空間無視についても空間性能力の一部であるとともに、方向性注意という注意機能と切り離せない面もあり、先にも書いたように簡単にも見えるが大変難しいこの二つの概念をも

う少し多面的に理解し、また、作業療法に生かすために、その輪郭と中身の理解を深める必要がある。

3. 注意とは何か、注意障害とは何か

注意の話は大変難しい。注意のメカニズムについては認知科学の中で十分解明されているわけではない。しかしわれわれは注意障害という言葉を多用する。一つには、人の脳が障害されたことにより表出する症状を研究する神経心理学と、基本的な脳機能を生理学的に解き明かす神経生理学で分かったことは異なるからである。これらの学問体系で分かっていることをすべて説明することなど私の能力の及ぶ範囲ではない。ここでは、これらの奥深さに気づくためのいくつかの視点を示す。

1) 注意と意識

山鳥は、基盤的認知能力に、意識、注意、記憶、感情を位置づけ、意識と注意について、意識は個体が外から入ってくる刺激や内部から上がってくる刺激に気づく能力であり、注意はその意識内容（気づきの対象）を鮮明にする働きであると述べている。以前、意識障害は高次脳機能障害ではないと明確に述べていた。今でも当然の見解である。しかし、注意と意識はクリアカットできない関係である。そこで意識について知識を深めてみる。

意識/覚醒の仕組みとして、上行性網様体賦活系が大きく関与している。それによって皮質下構造が関与する覚醒している素朴な意識（情動状態）と大脳皮質が関与する明敏な意識が存在し（図2）、その維持には脳幹網様体への感覚入力、神経伝達物質の関与、上位脳からの入力が必要と示されている（図3）。

また意識は運動や行動を支える精神活動であり、意識状態にも以下のような階層性が存在するとされている。

(1) 覚醒している素朴な意識状態（脳幹）は、脳幹網様体とそれに作用するものアミン、アセチルコリン作動系が重要で、上行性網様体賦活系を形成する。

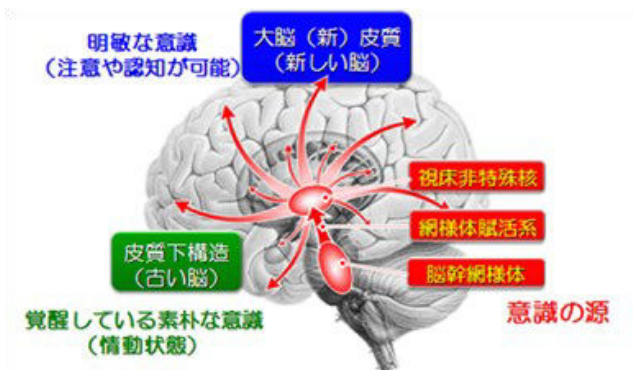


図2 意識/覚醒の仕組み：上行性網様体賦活系

(2) 情動の生じる意識状態（大脳辺縁系）は、快—不快に基づく情動状態を形成し、眠りから覚めた直後に感じる‘気分’にあたる。感覚情報は情動状態を変化させることができる。

(3) 注意や認知が可能な意識状態／明瞭な意識（大脳皮質）は、

- ・上行性網様体賦活系の作用が大脳皮質に広く作用することにより維持される。

- ・明瞭な意識とは見当識が維持され、作業記憶が可能である意識状態

① 感覚情報を認知できる

② 感覚情報に対して思考あるいは運動で反応する

③ 記憶として保持できる

私たちが日々意識障害としてJCSやGCSで評価しているのは覚醒している素朴な意識で、さらに高等な意識が存在し、これらの意識状態が注意と大きく関与することがわかる。

では、注意とは何か？注意の神経機構の一端を紐解くためにいくつかの内容を紹介する。彦坂は注意について次のように述べている。注意は感覚情報を選択する機構である。われわれはその選択された情報に基づいて行動をおこし、記憶を蓄える。そしてさらに、その行動や記憶にもとづいて注意により選択が行われる。この連鎖の中で脳は適応し、自律性を獲得する。しかしわれわれが注意について知っていることはわずかである。その原因は、注意そのものを直接に観察・測定することができないからである²⁾。このことから注意の輪郭を理解できる。次に注意はどのように生じるかという視点から、彦坂は以下のことを紹介している。

(1) 定位反応と注意：動物はまわりにある「もの」に働きかけるために、その「もの」に自分の体を向けなければならない。これが定位（orient）するということである。そして注意をひくようなものに対しておこるのが定位反応の特徴で、定位反応は注意という機能の最も基本的な形態と考えられる。視線の方向は多くの場合注意の方向を示しているので、眼球運動は最も典型的な注意の表現かもしれない。

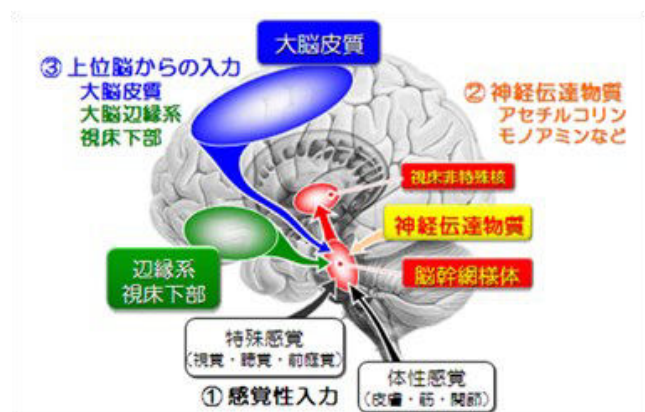


図3 網様体賦活系（覚醒/意識）の維持機構

(2) 受動的（ボトムアップ）注意：外的な刺激により注意が呼び起こされ、あるいは向き直されることをいう。これは手がかり刺激としての感覚入力によって、ターゲットとしての感覚情報処理が選択的に促進、または抑制される。

(3) 能動的（トップダウン）注意：自分の意志でどこかに注意を向ける。

受動的注意と能動的注意については例を挙げて説明する。論文を読んでいる最中その机の端をゴキブリが這ったとき、「注意」は否応なしにそれにひきつけられる。しかし無視してまた論文に熱中することもできる。このゴキブリへの注意が受動的注意であり、ゴキブリの存在にも関わらず論文に熱中することが能動的注意である。これらのことは私たちの関わる患者にもよくある話ではないだろうか。いつもきょろきょろして注意障害ではと思い、検査をしてみる。すると検査にはずっと集中して対応できることがある。意志が伴えば注意が持続できる、目的もなく無為にいと落ち着きがないなどである。ということは、患者にとって面白くもない意味のない活動より、興味がある意味ある活動の中で集中力を培っていくことは当たり前のことである。また、空間情報選択

（空間的注意）はしばしば受動的であり、非空間的注意はしばしば能動的であるといわれている。草むらでウサギが駆け抜ければ、「注意」は否応なしにその方向に引き寄せられるが、それは感覚刺激が「もの」として認知される前に起こる。しかし、白いウサギを探しているとき、まずあるものをウサギとして認知し、さらにその「色」に注意を向けないといけない。この非空間的注意は能動的である。このことは、いわゆる注意障害と、半側空間無視の背景となる方向性注意障害（後述）のことを理解することに役立つと考える。

以上神経生理学的知見から、意識と注意について触れたが、意識の機能と階層性、意識と注意の関連性を理解することにより、診断される意識障害、注意障害という臨床的な範疇より、患者さんを広く深く理解できる手がかりになるのではないかと考える。

4. 注意障害と半側空間無視

ここからは本題であり臨床場面で対応する、注意障害と半側空間無視についてまとめる。

まず、半側空間無視は、「外的空間の左半側を無視する傾向を、「左半側空間失認」とし、大きな右頭頂後頭葉病変で起こる（Brain WR, 1941）。」と最初の記述があり、失認として分類されてきた。しかし「大脳半球病巣の反対側に提示された新しい、または意味のある刺激を報告したり、反応したり、またそちらを向くことができない症状で、感覚障害や運動障害にはよらないものである。（Heilman KM et al, 1985

2003）」と紹介され、その後方向性注意障害という位置づけがなされてきた。そして最近では、「注意は全般性注意と方向性注意に分けられる」と記述されている³⁾。この分類において、臨床でいう注意障害とは全般性注意障害をさし、方向性注意は半側空間無視を説明する代表的な仮説とされている。それぞれについて説明を加え理解を深めたい。

1) 注意障害

注意障害についてはさまざまな記述がある。以下にいくつか紹介する。

注意はさまざまな認知機能の基盤であり、ある特定の認知機能が適切に機能するためには、注意の適切かつ効率的な動因が必要である。また注意機能は、広く社会的活動を営むためのさまざまな行動に介在し、これらを統合する役割を持つ。すなわち、注意による行動の制御機構である³⁾。注意は高次脳機能の土台のようなものであり、注意が障害されると大なり小なりすべての認知機能が障害される。注意は情報処理における第一段階であり、すべての精神神経活動の基盤であり、注意の障害は精神活動のすべての段階に影響する。高次の認知機能は注意に対して影響を与えており、高次の脳機能と注意は相互関係をもっている。高次脳機能障害をみた場合、どこまでが注意障害であり、どこからがそうでないのか明確な境界線を引くことが難しいことも多い。

これらのことからいえることは、様々な認知機能のベースとなるという下位機能としての注意は、前述した概念図（図1）と同意している。または情報処理の第一段階であるとしての注意は、認知機能のスタートであるという考え方、さらには精神活動のすべての段階に関与するとした、注意の階層構造も考えられる。つまり低次から高次までの大変幅広い注意機能が想定され、臨床的に理解が難しい背景になっていると考えられる。

このことは、全般性注意機能の考え方を少しずつ発展させている。以前は①選択性②持続性③転導性④分配性⑤感受性の5つの要素に分類していた。しかし現在では全般性注意には少なくとも3つのコンポーネントがあると考えられている。①注意の選択機能（selection）②覚度・アラートネスないしは注意の維持機能（vigilance, alertness, or sustained attention）、③注意による制御機能（control or capacity）である。これらの機能は相対的に独自の機能を持っていると考えられるが、多くの重複があると考えられる。この3つのコンポーネントの関係を図4に示す。選択機能とは、ある刺激にスポットライト（焦点）を当てる機能であり、最も重要な注意のコンポーネントである。選択的注意とは多くの刺激の中からただ一つの刺激、ないしは刺激に含まれる一つの要素に反応する能力を指す。ここでは

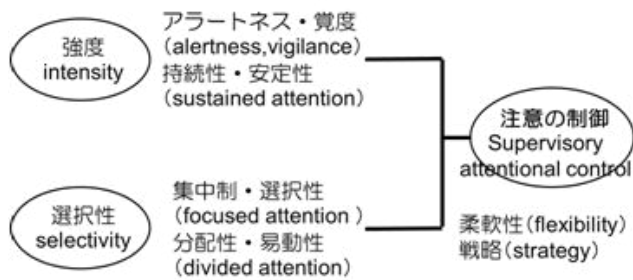


図4 注意の臨床的分類と各コンポーネントの関係

妨害ないしは干渉刺激の存在が前提で、この選択性が失われると行動の一貫性が容易に損なわれる。覚度ないし持続性注意は、ある一定の時間における注意の強度の維持能力に関与している。アラートネスとは、刺激に対する全般的な受容性ないしは感度に影響を与える神経系の状態を指し、刺激にほとんど反応を示さない睡眠や昏睡から、一貫して反応が良好である覚醒の状態まで様々なレベルを変動する。持続性注意は目標やゴールが時間の経過の中で維持されることの基盤ないしは背景を構成する。この障害は課題の施行に対する時間経過の影響として現れる。注意による認知機能の制御とは、ある認知活動を一過性に中断し他のより重要な情報に反応したり、2つ以上の刺激に同時に注意を向けるような、目的指向的な行動を制御する機能を指す。前者は注意の変換、後者は分配性注意と呼ばれる。この注意による認知機能の制御は前頭前野が重要な役割を果たし、いわゆる遂行機能と関連をしている。

このように注意機能は一面的な機能にとどまらず、階層的で幅広い機能である。臨床では十分精査し、どのような注意機能の障害であるのかを明確にすることが重要である。

2) 半側空間無視

半側空間無視は前述したように、「大脳半球病巣の反対側に提示された新しい、または意味のある刺激を報告したり、反応したり、またそちらを向くことができない症状」といわれ、日常の症状を示している。その背景の一つとして考えられるのが、方向性注意障害である。しかしこのことは当然の背景である。情報処理の第一段階は注意であると前に述べている。空間を認知し、適切な行動を実行するのに、空間性の注意、もしくは空間を定位する行動がまず起こることは当然のことである。半側空間無視は、様々な空間情報処理いわゆる空間認知の入り口の障害である。しかし臨床では多くの場合、この半側空間無視を改善することのみに躍起になっているが、臨床での課題はさらにそれからの問題である。要は空間定位をし、適切な空間認知の結果、空間での活動ができることである。なので、その症状は、注意障害と同様に、単に気づくのみならず、高次の統合処理に至

る様々な空間情報処理の課題として明確に評価することが重要である。つまり、半側空間無視の症状は一樣ではなく、また、生活への影響は幅広いということの理解が必要である。具体的評価内容や、その介入の紹介が必要であるが、勉強会当日は映像等を活用して紹介したため、本誌では割愛する。

5. 最後に

先にも述べたように、勉強会での口述内容を書き下ろしたため、注意障害と半側空間無視という2つの内容をシステムティックに構成して記述するには至っていない。また私の主旨はそれぞれの概念の奥深さとそれに対する多面的な情報を伝えたかったことにある。そのため全体的に伝わりにくい点が多々ある。また、理解と介入という表題に対し、介入についても全般的な内容の紹介ではなく、今回の理解のための情報をどう活用できるかなど、私見を交えて報告したので、この紙面上では難しいと考え、介入は今回割愛させていただいた。また機会があったらご紹介したい。

引用文献：

- 1) 山鳥 重：高次脳機能障害マエストロシリーズ①基礎知識のエッセンス，医歯薬出版
- 2) 彦坂興秀：認知科学9 注意と意識，岩波書院
- 3) 加藤元一郎：専門医のための精神科リユミエール10 注意障害，中山書店

参考文献：

- 1) 日本高次脳機能障害学会 教育・研修委員会編：注意と意欲の神経機構，新興医学出版社

平成28年度 第5回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成28年12月5日(月) 19時00分～22時30分
II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 15名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 中川昇, 深町晃次, 青山克実, 佐藤稔, 許山勝弘, 永田敬生, 大田登志樹, 平岡敏幸, 黒木勝仁, 深井伸吾, 田中真純, 轟木健市, 有久勝彦(以上, 理事), 吉田秀樹, 原口健三(以上, 監事), 鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 福田裕樹, 手島智康, 玉野和男, 沖雄二, 濱本孝弘(敬称略)

VI. 審議事項

1. 広告記事の協賛について(志井田代表理事) →承認
広告記事の協賛について, 理事会開催日と折り合わないことも多く, 原則的に三役の審議で承諾・不承諾を決定し, 直近の理事会において事務局長から報告することについて提案.
2. 新規事業への取り組みかたについて(志井田代表理事) →継続検討
実施年度の途中で, 新規に会員への周知や育成のための事業を緊急に実施すべき状況になった場合, 予算も含めてどのような対応が必要かの提案.
3. 会員管理システムソフトについて(中川事務局長) →承認
会員管理システムソフトのバージョンアップの必要性がでてきたため来年度予算に計上する.
4. 理事会でのタブレット導入の件について(中川事務局長) →承認
理事会でのタブレット導入について前回の理事会で導入の提案があり承認を得られていたが, 会員管理システムのバージョンアップの必要性がでてきたため予算の関係上, タブレット導入を見合わせる.
5. 平成29年度予算書・事業計画書の承認について(中川事務局長) →承認
平成29年度予算書・事業計画書について提案.
6. 福岡市リハビリテーション専門職協議会の設立について(黒木福岡ブロック担当理事) →継続検討
福岡市リハビリテーション専門職協議会立ち上げに向けて協力可能かの提案. 質の担保, 協会としての動向の把握等, 審議の結果, 立ち上げの方向に向けて準備はしていくが運営の方法などについては継続検討していく.
7. ジャーナル「作業療法・福岡」について(有久学術部担当理事) →承認
ジャーナル「作業療法・福岡」の印刷業者について, 石本製本, プリティックえんめいの2社に見積もり依頼した. 審議の結果, 石川製本に依頼する.
8. 現職者共通研修講師承認について(青山教育部担当理事) →承認
以下の講師依頼について報告.
作業療法生涯教育概論
鐘ヶ江秀俊 氏(ひなた家)
長城晃一 氏(北九州リハビリテーション学院)
職業倫理
手島智康氏(株式会社らそうむ)

作業療法の可能性

志井田太一 氏（北九州市立総合療育センター）

事例報告と事例研究

音琴慎一 氏（福岡和白リハビリテーション学院）

保健・医療・福祉と地域支援

靱井剛士 氏（医療法人夢結）

実践のための作業療法研究（旧：エビデンスと作業療法実践）

久野真矢 氏（九州国際学園設立準備室）

作業療法における協業・後輩育成

永田敬生 氏（福岡医健専門学校）

日本と世界の作業療法の動向

大丸幸 氏（九州栄養福祉大学）

9. 第21回福岡県作業療法学会の企画イベントにおける講師承認について（有久学術部担当理事）

→承認

以下の講師依頼について報告.

香月真 氏（シティ・ケアサービス）

10. 地域包括ケアシステム推進における研修会の講師承認について（深井保健福祉部担当理事）

→承認

以下の講師依頼について報告.

靱井剛士 氏（医療法人夢結）

田中聡 氏（株式会社リライブ）

長野久雄 氏（久留米リハビリテーション病院）

佐野功一 氏（宗像水光会総合病院）

手嶋雄太 氏（松岡病院）

都甲幹太 氏（介護老人保健施設 あやめの里）

11. 福岡ブロック研修会講師承認について（黒木福岡ブロック担当理事）

→承認

以下の講師依頼について報告.

大嶋伸雄 氏（首都大学東京健康福祉学部作業療法学科）

高橋章郎 氏（北原リハビリテーション病院）

松山拓史 氏（まえばる老健センター）

高山和則 氏（久留米リハビリテーション病院）

江原公洋 氏（からざステーション）

12. 筑豊ブロック研修会講師承認について（平岡筑豊ブロック担当理事）

→承認

以下の講師依頼について報告.

薦田剛敬 氏（株式会社らそうむ）

13. 北九州ブロック研修会の講師承認について（志井田代表理事）

→承認

北九州ブロックから以下の講師依頼があったとの報告.

藤田曜生 氏（九州大学病院）

許山勝弘 氏（福岡リハビリテーション病院）

14. 九州作業療法士会長会主催合同研修会協会推薦者承認について（青山教育部担当理事）

→承認

出席者として以下のように推薦する.

田代大祐 氏（高木病院）

15. 第27回全国ふうせんバレーボール大会ハンディレベル判定員参加者の承認について

（志井田代表理事）

→承認

北九州ブロックから以下の会員の派遣について報告.

津川文信 氏（上野病院）
岡本沙希 氏（北九州安部山公園病院）
沖田和代 氏（北九州安部山公園病院）
大庭由愛 氏（新王子病院）
田中佑果 氏（新王子病院）
岩本真理子 氏（西野病院）
津川拓己 氏（福岡市民病院）
原島智史 氏（介護老人保健施設やすらぎ）
小塩恭平 氏（八幡厚生病院）
高山久之 氏（八幡厚生病院）
恵良裕一 氏（高山病院）
岩城健三 氏（介護老人保健施設松恒園）
東城学 氏（飯塚記念病院）
平岡敏幸 氏（飯塚記念病院）
藤村香月 氏（飯塚記念病院）
増田達也 氏（飯塚記念病院）
御木大地 氏（福岡新水巻病院）

16. 平成28年度定期社員総会の開催について（中川事務局長） →承認

平成28年度定期社員総会の開催について以下のように報告。

日時：平成29年2月18日（土）17時～

場所：そぴあしんぐう（多目的ホール）

内容：平成29年度予算及び事業計画

17. 正会員の入会について（中川事務局長） →承認

平成28年9月22日から平成28年11月25日までの間に63名の入会があった。

VII. 協議事項

18. 九州理学療法士・作業療法士合同学会の終了を受けた事業の展開について
（志井田代表理事） →承認

合同学会終了後の事業をどのように展開していくか方向性について提案。協議の結果、代表理事に一任という形で承認。

19. 業者などへの研修会における対応について（青山教育部担当理事） →承認

研修会開催時に業者よりプレゼンテーションをしたい等の依頼があった場合の対応について提案。協議の結果、研修会会場内でのプレゼンテーションは行わないこと、また、必要に応じて各研修会担当理事より事務局長に報告し、三役に判断を仰ぐこととして承認。

20. 職場訪問取材について（許山広報部担当理事） →承認

作業療法士が現場で働く姿を取材し、県協会サイトに掲載することについて提案。

21. 第21回福岡県作業療法学会広報ポスター，チラシについて（有久学術部担当理事）
→ 一部修正の上承認

第21回福岡県作業療法学会広報ポスター，チラシについて提案。

22. 県，市町に対する名義後援依頼について（有久学術部担当理事） → 一部修正の上承認
市民公開講座・イベントにおける広報活動として県・市町の名義使用を行うため、県、及び学会開催周辺地区における6市町へ名義後援申請を行うことの提案。

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他，資料参照とする）

23. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成28年10月～11月の代表理事行動について報告。

24. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成28年10月1日から11月30日までの間に県協会宛てに26件の依頼（研修会案内依頼8件，講師・委員派遣依頼15件，共催・講演依頼1件，その他依頼2件）があった。

25. 九州理学療法士・作業療法士合同学会について（志井田代表理事）

平成28年11月11日に開催された九州理学療法士・作業療法士合同士会長会議において協議した結果，2018年開催の沖縄学会をもって合同学会を終了し，次のステップに進むことになった。

26. 平成28年度災害支援ボランティア研修会参加報告について（轟木筑後ブロック担当理事）

平成28年度災害支援ボランティア研修会の参加報告。

27. 中間監査報告について（事務局鐘ヶ江氏）

平成28年10月19日に行われた中間監査について報告。

28. 教育部主催研修会報告について（青山教育部担当理事）

主催研修会開催報告。

29. 平成28年度日本作業療法士協会生涯教育制度推進担当者会議について

（青山教育部担当理事）

会議参加報告。

30. 第21回福岡県作業療法学会について（有久学術部担当理事）

学会の準備について進捗状況報告。

31. ジャーナル「作業療法・福岡」について（有久学術部担当理事）

ジャーナルの準備について進捗状況の報告。

32. 市民公開講座（ハートメディア2016）について（永田事業部担当理事）

市民公開講座の参加者（116名）等の報告。

33. 作業療法フェスタについて（永田事業部担当理事）

イオンモール八幡東店で行われた作業療法フェスタの開催報告。

34. 西日本国際福祉機器展2016出展について（佐藤企画委員会担当理事）

西日本国際福祉機器展2016にブース出展し，3日間で約300名の体験者があった。

IX. 次回開催日

平成28年度 第6回理事会

日時： 平成29年2月6日（月）19：00～

場所： 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

平成28年度 第6回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成29年2月6日(月) 19時00分～22時30分
II. 場所 : 良創夢 リハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 18名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 濱本孝弘, 中川昇, 深町晃次,
青山克実, 佐藤稔, 福田裕樹, 手島智康, 許山勝弘,
永田敬生, 大田登志樹, 玉野和男, 轟木健市,
有久勝彦, 黒木勝仁, 深井伸吾, 田中真純, (以上, 理事).
吉田秀樹 (以上, 監事).
鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子 (以上, 事務局)
欠席者氏名 : 平岡敏幸, 沖雄二 (以上, 理事) 原口健三 (以上, 監事) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 謝金規程, 施行日変更について (手島規約委員会担当理事) →承認
規約集の謝金規程の施行日変更について提案.
2. 第21回福岡県作業療法学会の垂れ幕等印刷業者の選定について (有久学術部担当理事) →承認
学会会場における垂れ幕・看板の印刷業者の選定について提案. 審議の結果, 中澤印刷株式会社に依頼.
3. 平成29年度事業計画の追加 (認知症研修会開催) について (深井保健福祉部担当理事) →承認
平成29年度事業計画の追加として, 日本作業療法協会から各都道府県へ依頼があった認知症研修会開催について計画追加と予算調整の提案.
4. 平成29年度筑後ブロック全体研修会の講師承認について (轟木筑後ブロック担当理事) →承認
以下の講師依頼について報告.
「リハ栄養について」 (仮テーマ)
講師 : 前田圭介氏 (玉名地域保健医療センター 内科医師)
5. 正会員の休会承認について (中川事務局長) →承認
平成29年度の福岡県作業療法協会休会申請者について報告.
6. 正会員の入会について (中川事務局長) →承認
平成28年11月28日から平成29年1月23日までの間に14名の入会があった.
7. 平成29年度OTトップ (管理者) 会議 (仮) について (濱本業務執行理事) →継続検討
地域包括ケアシステムや認知症対策に対応していくために協会と現場の情報共有を図ることを目的としてブロック毎にOTトップ (管理者) を対象に会議を開催することの提案. 審議の結果, 開催方法, 内容など詳細を継続検討していくこととなった.

VII. 協議事項

8. 健康21世紀福岡県大会への福岡県作業療法協会参加の是非について (永田事業部担当理事) →継続検討

健康21世紀福岡県大会（福岡県主催で健康づくりへの支援を行うためのイベント）への福岡県作業療法協会参加の是非について提案。審議の結果、平成30年度に参加が可能か出展内容などの詳細を継続検討することとなった。

9. 平成29年度重点活動（案）について（志井田代表理事） →承認
平成29年度重点活動（案） 1. 地域包括ケアシステム推進, 2. 平成30年度に向けた準備について報告。
10. 各部署別・職務履歴作成に対する再検討のお願いについて（手島規約委員会担当理事） →承認
各部署別・職務履歴作成に対する再検討のお願いについて報告。
11. 第22回福岡県作業療法学会の学会長の承認について（有久学術部担当理事） →承認
第22回福岡県作業療法学会の学会長について以下のように提案。
学会長：恵良裕一氏（高山病院）

VIII. 報告事項（特記報告のみ記載。他、資料参照とする）

12. 代表理事行動について（志井田代表理事）
平成28年12月～平成29年1月の代表理事行動について報告。
13. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）
平成28年12月1日から平成29年1月31日までの間に県協会宛てに31件の依頼（研修会案内依頼6件、講師・委員派遣依頼19件、共催・講演依頼5件、その他依頼1件）があった。
14. 平成28年度第3回九州作業療法士会長会議について（志井田代表理事）
平成28年度第3回九州作業療法士会長会議について報告。
15. 教育部主催研修会報告について（青山教育部担当理事）
主催研修会開催について報告。
16. 第21回福岡県作業療法学会準備の進捗状況について（有久学術部担当理事）
当日運営準備、広報などの進捗状況について報告。

IX. 次回開催日

平成29年度 第1回理事会

日時： 平成29年4月24日（月）19：00～

場所： 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

平成28年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会議事録

- I. 開催日：平成29年2月18日（土）
II. 時間：17時00分～17時35分
III. 場所：そびあしんぐう 多目的ホール
IV. 正会員数：2,935名（平成29年1月19日現在）
V. 代議員総数：41名
VI. 本総会出席代議員数：本人出席 26名 書面評決者 13名
VII. 出席者氏名：

＜代議員本人出席＞

青山克実、黒木勝仁、中尾達也、中島純二、永田敬生、許山勝弘、佐藤稔、志井田太一、玉野和男、中川昇、中津留正剛、深町晃次、松永裕也、有久勝彦、澤田剛、轟木健市、濱本孝弘、原野裕司、深井信吾、福田裕樹、室岡真弘、大田登志樹、近重諒、松尾雅宜、手島智康、平岡敏幸

＜代議員書面評決者＞

竹中祐二、苗村俊助、久野良浩、日高健二、藤田曜生、町田真一郎榎本孝史、熊添潤一、座小田孝安、矢野浩二、江口智則、古賀大亮、中原徳郎、

＜監事＞

原口健三、吉田秀樹

＜事務局＞

鐘ヶ江秀俊、田邊慎一、藤崎実知子

VIII. 議長、書記選出：

中川昇理事が開会を宣言し、定款第23条に基づき出席代議員の中から議長に志井田太一氏が選出された。ついで議長の指名により議事録作成に関わる職務を行う者として中川昇氏、鐘ヶ江秀俊氏、藤崎実知子氏が選出された。

IX. 議事の経過の要領及びその結果

議長は、議事運営委員長の大田登志樹氏より報告をうけ、上記のとおり定足数に足りる代議員の出席があったので本総会は成立した旨を報告した。

ついで議長は定款第27条の規定により、議事録署名人に中島純二氏、松永裕也氏を任命した。

議事録署名人： 中島純二 氏 （今宿病院）
松永裕也 氏 （社会医療法人 製鉄記念八幡病院）

第1号議案：平成29 年度事業計画

第1号議案、平成29 年度事業計画について志井田太一代表理事より報告があった。
議決の結果、全員異議なく承認された。

第2号議案：平成29 年度収支予算報告

第2号議案、平成29 年度収支予算について中川昇理事より報告があった。議決の結果、全員異議なく承認された。

X. 議長団解任

X I. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって総会が終了した。

以上の決議を明確にするために、本議事録を作成し、定款27条により議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成29年2月18日 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会

各部・委員会からのお知らせ

【保健福祉部】

1. 報告事項

1) 活動報告

- (1) 第18回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)
 - ①日時：平成29年1月4日(水)
 - ②場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室
 - ③出席者：濱本孝弘，原野裕司，永田博明，田中孝子，長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，小山大作，深井伸吾
 - ④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について
- (2) 第19回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)
 - ①日時：平成29年2月1日(水)
 - ②場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室
 - ③出席者：濱本孝弘，長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，高山和規，小山大作，恒松伴典，深井伸吾
 - ④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について
- (3) 第20回高齢者支援ブロック実務者会議(筑後)
 - ①日時：平成29年3月1日(水)
 - ②場所：いきいき安武デイサービスセンター研修室
 - ③出席者：濱本孝弘，長野久雄，桑島俊明，石橋慎也，長野剛，高山和規，小山大作，田中孝子，恒松伴典，原野裕司，深井伸吾
 - ④内容：自立支援ケア会議の活動報告，活動予定について
- (4) 第6回 地域包括ケアシステム推進会議
 - ①日時：平成29年1月13日(金)
 - ②場所：福岡医健専門学校
 - ③出席者：志井田太一，濱本孝弘，黒木勝仁，大田登志樹，平岡敏幸，田中聡，黒田隆之，佐野功一，榎井剛士，長野久雄，永田敬生，生駒英長，榎本孝史，深井伸吾
 - ④内容：地域包括ケアシステム推進について
- (5) 第7回 地域包括ケアシステム推進会議
 - ①日時：平成29年3月9日(木)
 - ②場所：宗像水光会総合病院
 - ③出席者：志井田太一，濱本孝弘，玉野和男，黒木勝仁，大田登志樹，平岡敏幸，轟木健市，田中聡，黒田隆之，佐野功一，榎井剛士，長野久雄，深井伸吾
 - ④内容：地域包括ケアシステム推進について
- (6) 第1回 粕屋町子育て応援サロン企画会議
 - ①日時：平成29年3月3日(金)
 - ②場所：医療福祉センター聖ヨゼフ園
 - ③出席者：濱本孝弘，藤川貴子，武藤美智恵，長野清一郎
 - ④内容：子育てサロン次年度の担当検討・企画

【教育部】

1. 研修会報告

- 1) 現職者共通研修(第21回福岡県作業療法学会同日開催)

平成28年2月18日(土) 9:30～

場所：そびあしんぐう

参加総数：115名

- 2) 現職者選択研修(必須 MTDLP基礎研修)

- ①福岡東ブロック：平成28年度12月18日(日)

場 所：宗像水光会病院 参加者：69名

講 師：都甲幹太

- ②筑豊ブロック：平成29年1月22日(日)

場 所：飯塚コミュニティセンター

参加者：61名

講 師：宮本香織

- ③北九州ブロック：平成29年2月12日(日)

場 所：八幡西区生涯学習センター

参加者：名

講 師：都甲幹太

※今年度総受講者数：586名

※H29.2末時点までの県内の基礎研修修了者903名，実践者研修修了61名，指導者4名

- 3) MTDLP事例検討会

- ①平成28年12月4日(日)

場 所：九州栄養福祉大学

事例発表：3名，聴講者：25名

- ②平成28年1月29日(日)

場 所：福岡赤十字病院

事例発表：2名，聴講者：14名

- 3) 九州作業療法士会会長会主催合同研修会

平成29年1月21日(土)，22日(日)

担当者：平塚剛(教育部生涯教育専門部会)

県協会推薦参加者：田代大祐(大川病院)

参加者：1月21日総数43名(福岡県 6名)

1月22日総数44名(福岡県 7名)

研修会テーマ・1月21日(土)：

『働くことを支える地域でのアプローチ』

講師：仲地宗幸先生/株式会社NSP(90分)

講師：小川敬之先生/九州保健福祉大学(90分)

・1月22日(日)：『地域資源を活かしたマチ作り - 行政の視点から - 』

講師：中畑万里子先生/福岡県行橋市役所介護保険課(90分)

【筑豊ブロック】

<公1>

I. 事業企画会議

第6回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成29年2月13日月曜日

会 場：飯塚記念病院 参加者：13名

内 容：第6回筑豊ブロック研修会，次年度事

業、第22回学会について、他

Ⅱ. 研修会報告

第2回 事例報告検討会

日 時：平成29年1月18日水曜日

会 場：飯塚記念病院

発表者：6名 聴講（該当）：7名

聴講（非該当）：27名

現職者選択研修 第9回生活行為向上マネジメント
基礎研修

日 時：平成29年1月22日（日）

会 場：イイヅカコミュニティセンター
学習室401

講 師：宮本 香織氏（株式会社らそうむ）

参加者：61名

第6回 筑豊ブロック研修会

日 時：平成29年2月10日金曜日

会 場：飯塚記念病院 グランドホール

テーマ：領域が変わったことで見えてきた作業療
法～医療から地域へ～

講 師：薦田剛敬氏

（良創夢発達支援ルームらいく古賀店）

天候不良（雪）のため開催中止。平成29年度に開催
延期予定。

<公2>

Ⅰ. 平成28年度専門職向け地域ケア会議研修

日 時：平成29年3月5日日曜日

会 場：福岡県中小企業振興センター401会議室

内 容：地域におけるリハビリテーション専門職の
役割と必要な視点（仮）他

※筑豊ブロックより平岡、初井、手嶋、織田の4名
参加。

Ⅱ. 広報誌 筑豊OT TIMES 第19号 平成29年1月
16日発行

【今後の予定】

<公1>

Ⅰ. 事業企画会議

第1回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成29年4月10日月曜日

会 場：飯塚記念病院

<公2>

Ⅰ. 広報誌 筑豊OT TIMES 第20号 平成29年4月
15日発行予定

【北九州ブロック】

1. 活動報告

<北九州ブロック>

ブロック企画会議開催

平成29年1月16日（月） 19:00～

北九州市認知症支援・介護予防センター

平成29年3月6日（月） 19:00～

（公社）福岡県作業療法協会事務局

第3回北九州ブロック全体研修会

日 時：平成29年1月22日（日） 9:00～12:30

会 場：北九州リハビリテーション学院

テーマ：一部）認知行動療法（CBT）の基礎と臨床
への応用

二部）がんのリハビリテーション～急性期
からターミナル期まで～

講 師：一部）許山勝弘氏

（福岡リハビリテーション病院）

二部）藤田曜生氏（九州大学病院）

参加者：33名（一部33名、二部31名）

地域ケア会議助言者養成研修会準備委員会

日 時：平成29年2月7日（火）19:00～21:00

会 場：公社）福岡県作業療法協会事務局

参加者：12名

戸畑区リハビリテーションフェア

日 時：平成29年3月5日（日）10:00～14:30

会 場：ウエル戸畑

参加者：7名

<小倉北・門司エリア>

エリア事業企画会議開催

日 時：平成29年3月14日（火）19:00～

場 所：新小文字病院すみれ寮7階会議室

<小倉南・京築エリア>

エリア事業企画会議開催

日 時：平成29年2月13日（月）19:00～

場 所：コミュニティスペース百屋

<八幡西・遠賀・中間エリア>

エリア事業企画会議開催

日 時：平成29年3月17日（金）19:00～

場 所：新王子病院

<広報部>

企画会議開催

日 時：平成29年2月15日（水） 19:00～

場 所：和菜屋

広報誌「北九OTネットvol.23」発行

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催

日 時：平成29年1月12日（木）

場 所：桜十字福岡病院

参 加：19名

日 時：平成29年2月16日（火）

場 所：桜十字福岡病院

参 加：21名

日 時：平成29年 3月7日（火）

場 所：桜十字福岡病院

参 加：17名

2. 広報部

1) 「Joy Style 冬号」 平成29年1月20日発行

2) Facebook：随時更新中

3) 広報部会

日 時：平成29年3月2日（木）

参加者：4名

3. 教育學術部

1) 平成28年度 第4回 福岡ブロック研修会

テーマ：認知作業療法について ～身体障がい領域と精神障がい領域での実践～

講師：首都大学東京 健康福祉学部 作業療法科教授 大嶋伸雄先生（作業療法士）
専門学校首都医校，NP0法人ルーツ・ユアセルフ 高橋章郎先生（作業療法士）

日時：平成29年3月5日（日） 10：00～18：00

会場：福岡赤十字病院 椎木記念ホール

参加者：54名（うちOT48名，学生4名，他職種2名）

4. エリア部

1) 平成28年度 第3回 事例報告検討会

日時：平成29年3月3日（金） 19：00～20：30

会場：九州大学病院 作業療法室 発表者9名

聴講者：16名

2) エリア会

・城南・早良エリア

テーマ：福岡市の地域包括ケアシステムについて

講師：からぎステーション 事務長 江原公浩

日時：平成29年2月3日（金） 19：00～20：30

会場：からぎステーション

参加者：8名

・西部・糸島市エリア

テーマ：糸島市における地域ケア会議・地域総合事業に対する取り組み

講師：まえばる老健センター 松山拓史先生（作業療法士）

日時：平成29年2月13日（月） 19：00～20：30

会場：福岡市西市民センター

参加者：17名

・東部・中央エリア

テーマ：総合事業にむけて（久留米の現状と当院の取り組みについて）

講師：久留米リハビリテーション病院
高山和則（作業療法士）

日時：平成29年2月9日（木） 19：00～20：30

会場：香椎丘リハビリテーション病院

参加者：29名

【筑後ブロック】

【活動報告】

〈公1〉

事業企画会議

第6回 筑後ブロック事業企画会議

日時：平成29年2月20日（月） 19：30～

場所：高良台リハビリテーション病院

出席：10名

2) 第5回 久留米地区（A地区）企画会議

日時：平成29年2月9日

場所：えーるピア久留米（男女平等推進センター210・211学習室）

出席：6名

3) 第6回 八女・筑後地区（B地区）企画会議

日時：平成29年3月2日 18：30～20：00

場所：介護老人保健施設 のぞみ船小屋

出席：6名

4) 第5回 有明地区（C地区）企画会議

日時：平成29年1月23日（月） 18：00～19：30

場所：ガスト白金店

出席：5名

5) 第4回 朝倉地区（D地区）企画会議

日時：平成29年1月14日（土） 19：00～

場所：本間病院

出席：6名

6) 第7回 広報部企画会議（WEB会議）

日時：平成29年2月17日 20：40

場所：松岡病院

出席：古賀，三浦，熊脇，高山（4名）

2. 事例検討報告会

1) 久留米地区

日時：平成29年2月9日（木） 19：00～20：30

会場：えーるピア久留米（男女平等推進センター210・211学習室）

座長：田中孝子 先生（聖マリア病院）
大西なつ美氏（高良台リハビリテーション病院）

発表者：4名 聴講者：15名

2) 八女・筑後地区

日時：平成29年1月18日（水） 19：00～20：30

場所：久留米リハビリテーション学院

座長：井ノ口征幸（久留米リハビリテーション学院）

松石治（柳川リハビリテーション病院）

馬場翔吾（八女リハビリ病院）

田代大祐（高木病院）

運営委員：5名

発表者：8名 聴講者：41名

（事前受付：8名，当日受付：33名）

3. 地域ケア会議参加者情報交換会

1) 有明地区（C地区）

（1）地域ケア会議参加者情報交換会

日時：平成29年3月2日（木） 19：00～

会場：帝京大学 福岡医療技術学部

参加者：轟木健市（帝京大学）・佐藤（帝京大学）・木村（曾我病院）・松永ゆり子（菅原病院）・福岡（訪問看護ステーション セントポーリア）・箕輪透士（デイサービスよかところ）・澤田

2) 朝倉地区（D地区）

（2）地域ケア会議参加者情報交換会

日時：平成29年2月23日（木） 19時～

会場：甘木中央病院

参加者：運営委員より以下2名参加予定，甘木中

央病院：龍，自宅会員：出利葉

〈公2〉

1. 広報活動

1) Facebook広報実施

(1) Facebook活動報告

①第21回福岡県作業療法学会取材

②筑後ブロックにて参加されている方に取材を実施．学会風景をアップ．

③Facebook情報アップ

1/13:第21回福岡県作業療法学会情報（シェア）

2/1:JAOTS（日本作業療法学生連盟）第1回交流会のお知らせ（シェア）

1/13:第21回福岡県作業療法学会情報（シェア）

2/13:第21回福岡県作業療法学会情報

2/18:第21回福岡県作業療法学会当日情報その

12/18:第21回福岡県作業療法学会当日情報その2

2/19:第21回福岡県作業療法学会 終了のお知らせ

【今後の活動予定】

〈公1〉

1. 事業企画会議

第1回 筑後ブロック事業企画会議予定

日 時：平成29年4月17日（月）19:00～

場 所：筑後商工会議所（全体）

〈公2〉

1) 第8回広報部企画会議

日 時：平成29年3月予定

Facebook学会報告アップ

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社／福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部／糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL／092-938-2208
HP／<http://www.takisyokai.co.jp>



タキ商会

以上



平成28年度九州作業療法士会長会主催合同研修会出張報告書

高木病院 リハビリテーション室
作業療法士 田代 大祐

今回、宮崎県で開催された平成28年九州作業療法士会長会合同研修会に参加させて頂きました。

我が国の高齢化率は年々増加傾向にあり、保健福祉領域といった地域リハビリテーション分野における作業療法士の実践が期待されています。こうした社会背景に対応するため、日本作業療法士協会は地域分野への人材配置を掲げた目標を示しています。当然、私を含め作業療法士たちは地域医療分野に目が向いている反面、その実践経験が少なく、戸惑っている状況です。この研修会ではそんな問題を解決して頂けるような内容となっていました。

1日目は「働くこと、を支える地域でのアプローチ」と題して仲地宗幸先生（キングコング代表 沖縄県作業療法士会 理事）と小川敬之先生（九州保健福祉大学 作業療法士学科 教授）にご講演頂きました。仲地先生は就労支援の実践を紹介して頂き、障害者もそうでない者も働くことを通して混ざり合うことができる社会作りの必要性を学ばせて頂きました。また、小川先生は認知症ケアの歴史や認知症の方が社会と繋がっていく実践報告を紹介頂き、認知症と共に生きる地域作りの重要性を学ばせて頂きました。

2日目は「行橋市の実践から学ぶ、住民のチカラを引き出すシステム作り」と題して中畑万里子先生（福岡県行橋市市役所 介護保険課 理学療法士）にご講演頂きました。中畑先生からは行政の立場から社会資源の開発方法や地域ケア会議での現状を紹介して頂き、今地域で求められている地域づくりは何か事例を通して学ばせて頂きました。また、「地域と繋がっていく方策」を検討するディスカッションの時間も設けて頂き、参加者の作業療法士として、または地域住民としての繋がり方を知る貴重な時間にもなりました。

全体を通して先生方には豊富な症例を紹介して頂き、明日からの臨床、または地域生活で使える内容を多く学ばせて頂きました。研修会を通して、今後自らも地域への関わりをますます増やしていきたいと思いました。今回本研修会に参加させて頂き、誠にありがとうございました。

作業療法士という職業柄、私は物を作ることが好きだとずっと思っていた。OTになり20年。その考えが覆されることが昨年あった。ことの始まりは、当院で毎年春に行う文化祭。当院では患者さんだけではなく、スタッフの作品も展示し文化祭を盛り上げている。そろそろ文化祭の準備をしないとね、と思い始めた昨年1月、部下の男性OTRが男性職員たちに提案し、全員同じプラモデルを作り色塗りでオリジナリティを出し、作品展の投票で優劣を競うコンテストを企画していた。なぜか私にも声が掛かり、初めはお断りしたのだが、よく考えたらプラモデルは患者さんの作品の手伝いをしたことはあるものの、自分で作ったことがないことに気が付き、「1回ぐらい作ってみようかな、たぶん作れるだろうし」と軽い気持ちで引き受け、コンテストに参戦することにした。

用意されたプラモデルは、ガンダムの敵役「ザク」のMGシリーズ。知らない方のために説明すると、このMGシリーズはパーツが細かく、例えば指の関節ひとつひとつ組立てるワンランク上のモデルで、患者さんには難しく精神科作業療法ではほとんど使う事のない種類である。ガンダムを見ておらずザクを知らなかった私にとって、主役のガンダムではなく、敵役ザクの冴えないモスグリーン色のボディはとってもモチベーションが上がらないものだった。

ザクを自宅で作るのが嫌で、昼休みの残りのわずかな時間を使って作っていたが、細かすぎて作っても作っても一向に出来上がらない…。1/3ほど作ったところでやる気をなくし、しばらく放置していた。誘いに乗ってしまった事を後悔しつつ、かと言って途中でギブアップするのも口惜しく思案していたが、気付くと文化祭間近！慌ててスパートをかけたが、最後の3日間は午前2時まで作る破目になった。仕上げの塗装は時間がないため、早く乾き、見栄えがし、可愛くなるものと考えていたら、ラメたっぷりのマニキュアを使う事を閃き、さらにキラキラのラインストーンシールを貼ってデコった。また、小道具の銃の代わりに、造花でバラの花束を作り持たせた。文化祭当日にやっと完成。患者さんには締め切り厳守と言っていたのに、私が一番締め切り破り…(笑)。

作品展が終わり、ふたを開けてみると、なんと私がコンテストで1位になっていた！どうやらラメラメ・キラキラの装飾とバラの花が女性に受け、得票を稼いだようである。男性陣は皆、ガンダムに思入れがある分、気合を入れて作っていたのに、一番やる気のなかった私が1位になり、男性陣のショックは大きかった(笑)。

初挑戦のプラモデルを完成させ、コンテストで1位を取ってしまったが、私にとってプラモデルはストレスが多く、楽しくないactivityだった。一方、10代20代のころにしたいと思いながらも諦めていたことに改めて向き合おうと思い、昨年からは浴衣を縫っている。DVD付きの和裁の本を買い、独学で手縫いの和裁に挑戦である。手芸は好きだが、日ごろ針を持つ機会が少ないため運針はたどたどしく、手慣れた人なら1～2日で縫い上げるものを数か月かけながら作っている。でも、少しずつ形になっていくと嬉しく、そして楽しい。プラモデルと浴衣。どちらもずっと好きだと思っていた、物を作るということ。でも、どうして私の中で温度差があったのだろう。考えると、そこには能力ではなく、興味やモチベーションがあり、日々の生活の中で気づかぬうちに取捨選択をしていたことに改めて気付く。個人の趣味の範疇であればそれで一向に構わないのだろうが、作業療法士という職業として考えると、私のプライベートでの経験が作業療法に活きる。私は患者さんの「したいこと」にきちんと向き合ってきたのだろうか。自分のできる範囲のことだけで、OT室にある物の中だけで対処しようとしていなかったのだろうか。いろいろな思いが巡る。そう思うと、興味の無いことにあえて取り組むことも、時には必要なのだなと思った。

Activityの、その使い方の難しさと奥深さに改めて驚くと共に、プラモデル作りに声掛けしてくれたスタッフに感謝し、「自分に作業療法」も時には良いな、と思う今日この頃。



エッセイと言うことなので、自分語りをさせていただきます。

このリレーエッセイを回してくれた真珠君とは、以前働いていた病院の同期入社でした。真珠君はカリスマ性といろいろな視点から評価できる冷静さを持ち合わせた本当に凄い人で、『自分自身を治療道具』としてとらえる作業療法士としてとても頼りになる存在です。

以前働いていた職場で感じていた事は、「はたして自分は、そんな真珠君と同期だと胸を張って言えるだろうか」という事です。他のセラピストの良いところが見えれば見えるほど、自分の至らない点や頑張り切れていない所が気になってきます。現在の職場では、急性期病院の中に新設された回復期病棟で、作業療法士がどんな役割を果たせるのかといった課題に向き合う機会が多くありました。現在も試行錯誤しながらではありますが、全力で作業療法のあり方について考えているつもりです。その中で得た知識や感じた事を、同期である真珠君や他職種を含めた先輩後輩達の考え方を聞き、自分の刺激にしていきたいです。

私には現在4歳と2歳になる子どもがおり、今年の5月には第三子（待望の女の子）が産まれる予定です。子どもの成長を目の当たりにする中で思い出されるのが、「今年の目標は、子どもの成長に負けないように自分も成長する」という以前働いていた職場の上司の言葉です。日に日に新しい言葉を覚え、少し前まで怖がっていた公園の大きな遊具でも遊べるようになった走り回る二人の子どもを見ていると、子ども達の凄まじい成長速度に負けないぐらい自分を成長させたいという目標は、自分も心に留めておかななくてはいけない事だと感じます。

この先輩とは少しベクトルが違いますが、やっと自分にも目標が出来たように思います。それは『子どもから尊敬される父親になる』という事です。作業療法士の会報で育児論を語るつもりはありません。自分が患者に向き合っている姿勢や、仕事に取り組んでいるその態度を子どもたちに誇れるかという所が大切なのではないかと感じています。まだまだ自分の理想とする作業療法士にも父親にもなれてはいませんが、子どもや家族に恥じる事がない医療人になれるように日々頑張ります。



福岡市医師会訪問看護ステーション

【募集職種】 理学療法士・作業療法士(訪問リハビリ)
 【募集人員】 若干名
 【雇用形態】 ①嘱託職員 ②常勤臨時職員
 ③非常勤職員
 【給与】 ①月額平均約25万円(諸手当含む)賞与・交通費支給
 ②時給1,200円+出動料500円～1,000円/回+650円/回
 ③出動料930円～3,560円/回+650円/回
 【交通費】 ①は1カ月上限5万円迄支給
 【勤務時間】
 ①②月～金9:00～17:00 土曜(隔週)9:00～13:00
 ③時間内に直行・直帰可能
 【休日】 日曜・祝日 8/14～8/15 12/30～1/3
 【その他】 ①②各種社会保険完備
 【勤務地】 東部:博多区千代 中部:中央区大宮 西部:早良区南庄
 【応募方法】 TEL 092-852-1512(まずはお電話下さい)
 一般社団法人 福岡市医師会
 在宅医療課/林・万代(まんだい)
 (平日 9:00～19:00 土曜 9:00～13:00)

児童発達支援事業所 マママとままま

【募集職種】 作業療法士・言語聴覚士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 常勤
 【給与】 203,000円～258,000円
 【賞与】 業績に応じる.
 【勤務時間】 8:15～5:15
 【休日】
 日・祝日・月2回土曜・他(カレンダー+数日)
 【福利厚生】 各種社会保険完備
 【その他】
 交通費(20,000円/月まで). 最寄駅からは徒歩10分.
 【備考】 条件:大卒もしくは臨床経験3年以上.
 40歳未満(キャリア形成のため). 施設概要:主に自閉症児(未就学)をエビデンスのあるABA(応用行動分析)に基づく個別訓練で行っています. 自分の臨床に限界を感じている方, OT・STプラスABAで新しい世界が開けます. ABAは研修で指導しますのでブランクのある方でも熱意があれば歓迎します. 試用期間:6ヶ月.
 【連絡先】
 住所 〒816-0872 福岡県春日市桜ヶ丘8-86
 児童発達支援事業所「マママとままま」
 (株)オフィス・スローライフ
 電話番号 092-586-6696
 担当者名 林(管理者)

重症心身障害施設

久山療育園重症児者医療療育センター

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 2名
 【雇用形態】 正社員
 【給与】 196,980～(経験など考慮します)
 【賞与】 年2回 (支給額 4・3ヶ月)
 【勤務時間】 8:00～17:00
 【休日】 土, 日, 祝
 【福利厚生】 各種保険あり
 【その他】 交通費(上限55,000円)
 【備考】 重症心身障害児者のリハビリ業務
 入所者のリハビリ, 生活介護事業・児童発達支援事業の利用者へのリハビリ, 在宅障害児への訪問リハビリ, 特別支援学校, 地域の学校, 施設への施設支援業務など, 外来リハビリ
 【連絡先】
 811-2501
 福岡県糟屋郡久山町大字久原1869
 TEL: 092-976-2281
 FAX: 092-976-2172
 担当:総務課 小脇

独立行政法人労働者健康安全機構

九州労災病院門司メディカルセンター

【募集職種】 作業療法士
 【募集人員】 1名
 【雇用形態】 嘱託職員
 【給与】 時給1,060円
 【賞与】 なし
 (但し一時金として, 平成27年度実績:172,000円)
 【勤務時間】 8:15～16:00
 【休日】 土・日祝日・年末年始
 【福利厚生】 有
 【その他】 通勤手当, 有給休暇, 夏季休暇
 6ヶ月毎の契約更新
 (年度制4/1～9/30, 10/1～3/31)
 【備考】
 地域医療支援病院としての急性期総合病院の機能充実と地域包括ケアの質的向上のため人員募集です.
 【連絡先】
 住所 福岡県北九州市門司区東港町3番1号
 担当 総務課 前田・加藤
 電話 093-331-3461

有限会社もも（スタジオアニモ 通所 介護 宅老所モモタロウ）

【募集職種】 理学療法士または作業療法士
【募集人員】 1～2名
【雇用形態】 正社員または非常勤時給1100円
【給 与】 250,000円程度
【賞 与】 年2回 当社規定による
【勤務時間】 8:30～17:30 非常勤/応相談
【休 日】 正社員 週休2日（日曜休み）
【福利厚生】 社会保険完備 健康診断 職員旅行
トレーニング室完備 昼食費300円（希望性） 無料
駐車場 制服支給（ポロシャツ） シナプソロジー®
他資格取得補助

【そ の 他】 交通費～6500

【備 考】 デイサービスにおける生活機能向上
訓練業務.

（自主事業のパーソナルトレーニングやレッドコー
ドのグループエクササイズなど新規事業におけるプ
ログラム開発などにも携われます.）

【連絡先】 福岡県久留米市野伏間1丁目8-46

T E L 0942-65-8726 担当 森川



会員動向調査

調査期間 (2015. 12. 12～2016. 3. 3)

福岡県作業療法協会 会員数2,767名 (正会員2,489 自宅会員278名)

<入会>

五島 明宣 聖マリアヘルスケアセンター
: 2016年12月
(八女リハビリ病院より)

中尾 祐也 筑水会病院 : 2016年8月

鞠園 志保 米の山病院 : 2017年1月

宮崎 真二 筑後川温泉病院 : 2017年1月

吉村 匡史 飯塚病院 : 2016年7月

岩川 いぶき 株式会社 らそうむ
: 2016年12月

坂本 花鈴 松岡病院 : 2016年12月

竹内 あすか (株) Rキューブ良創夢発達支援
ルームらいく宗像店 : 2017年1月

古川 茉由子 誠愛リハビリテーション病院
: 2016年11月

柳田 千穂 千鳥橋病院 : 2016年12月

内田 弥希 桜十字福岡病院 : 2017年1月

松田 貴大 渡辺整形外科病院 : 2017年2月

杉崎 愛美 福岡リハビリテーション病院
: 2017年2月

小川 修 福岡和白リハビリテーション学院
: 2017年2月

山内 千乃 宗像水光会総合病院 : 2016年11月

河野 純平 福岡青洲会病院 : 2016年11月

上原 真実 福岡青洲会病院 : 2016年12月

山口 涼太 福岡青洲会病院 : 2016年12月

西村 亜紀 東筑病院 : 2016年12月

大草 直樹 大手町病院 : 2016年12月

福地 耕介 国立病院機構 小倉医療センター
: 2017年1月

本田 莉央菜 福岡新水巻病院 : 2017年1月

駒場 裕紀子 小倉リハビリテーション病院
: 2017年2月

<県内移動>

横田 浩輝 聖マリアヘルスケアセンター
: 2015年10月
(聖マリア病院より)

田中 重徳 長生園デイサービス : 2016年4月
(介護老人保健施設 大木しょうふく苑より)

廣重 克也 介護老人保健施設 久英荘
: 2016年4月
(健康リハビリテーション内田病院より)

黒田 知規 自宅 : 2016年7月
(朝倉健生病院より)

鋤本 千恵子 野伏間クリニック : 2016年7月
(古賀病院21より)

松野 ひとみ みずま通所リハビリテーション
センター : 2016年11月
(柳川リハビリテーション病院より)

桑島 俊明 TASUKIリハビリサービス
: 2017年1月
(安本病院より)

福田 裕樹 新やなぎ在宅支援センター
: 2017年1月
(八女リハビリ病院より)

靱井 剛士 らそうむ内科リハビリテーション
クリニック : 2016年8月
(株式会社Rキューブより)

渡邊 健 やすなが訪問看護ステーション
: 2016年12月
(くらて病院より)

田中 良太 訪問看護ステーションもち
: 2016年4月
(福岡山王病院より)

木戸 綾子 在宅リハビリ訪問看護ステーション
TOMO南 : 2016年4月
(福西会南病院より)

小野 恵里加 くまクリニック : 2016年10月
(晴山会クリニックより)

飯塚 恵津子 大木整形リハビリ医院
: 2016年10月
(自宅より)

黒川 仁志 油山病院 : 2016年12月
(今宿病院より)

ト部 ちひろ 介護老人保健施設 宗像アコール
: 2016年5月
(嶋田病院より)

森田 遥香 リハディ東中間 : 2016年8月
(児童発達支援・放課後等デイサービス ごえん
より)

原島 智史 介護老人保健施設やすらぎ
: 2016年11月
(西野病院より)

佐藤 亜希 松尾病院 : 2016年12月
(特別養護老人ホーム 聖家族の家より)

<退会者>

中村 里沙 : 2016年11月

川添 法子 : 2016年12月

吉野 千春 : 2016年12月

千田 綾子 : 2016年12月

井上 典子 : 2016年12月

久光 雄介 : 2017年1月

吉井 紗央里 : 2017年1月

秋山 英光 : 2017年1月

吉野 由莉 : 2017年1月

針馬 見佳 : 2017年1月

山本 遥 : 2017年2月

秦 望美 : 2017年2月

田中 理子 : 2017年2月

印具 千津代 : 2017年2月

岡部 瞳 : 2017年2月

＊会員の皆様へ＊

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごございます。異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙（異動届等）にその旨ご記入ください。

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

新年度になりました。会員の方の施設にも初々しい新人が入職されたことと思います。第52回作業療法士国家試験は受験者数5,983人(新卒者5,303人)、合格者5,007人(新卒者4,800人)、合格率83.7%(新卒者90.5%)でした。毎年、作業療法士の仲間が増えるのはとても頼もしいことです。新入職の方にも作業療法協会への入会を勧めていただくと強い力となります。ぜひともよろしくお願い致します。

今回の特集は九州栄養福祉大学の渕雅子先生にお願いしました。渕先生は長年、高次脳機能障害の評価や治療について臨床や教育で携わってこられました。私が学生だった12～3年ほど前に学校に臨時講義で来られことを覚えています。ぜひご一読ください。今年度もよろしくお願い致します。（許山）